

作成日		発行
2018.01.01 No.270		(株)秋山製作所 企画・デザイン室

あけましておめでとうございます

新春のお喜びを申し上げます、昨年は何かとお世話になりましてありがとうございました、おかげさまで良き新年を迎えることができました、本年も昨年同様よろしくお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。今年が平成に入りに30年来年5月には、平成から新しい年号に代わる節目の年ではないでしょうか？今年の干支戌と言っても色々な意味があり2018年戌戌（つちえのいぬ）戌（つちのえ）は、植物の成長が絶頂期にあるという意味があり、戌（いぬ）は、減で、草木が枯れる状態という意味がありますから、これらも合わせて2018年の戌年の運氣や兆候を考えると、2017年に燃え尽きた豊かさや幸せの灰の中から、新たに芽生えた新たな意味や価値が2018年にグッと成長することを示しているようです。新年のご挨拶はこの辺で、新年を迎え縁起物や成人式アイテムの作製している当社からのご提案いたします。成人式には帯留などでワンポイントアクセントを加えてみてはいかがでしょうか。縁起物としては、結びをイメージしたデザインもご用意しております。昔ならではのおもちゃや、来年の干支のデザインもご用意いたしております。是非とも新年からのご提案にお役立てください。(T.I)



振袖

どこの国にも、その土地に生まれた民族衣装というのがあります。日本人であるなら民族衣装というものは着物の事です。

長い年月の間に着物も色々な変遷を過ぎて今の形になりました。そして女性が生まれてから各年代に合わせて、また未婚の頃を過ぎ既婚者になることによっても着物の形が変わって参ります。

三歳、七歳の頃の「祝い着」、そして十三参りの時の着物を経て十代が終わり二十歳になり、いよいよ大人の仲間入りをする「成人式」を迎えることとなります。この時に女性は、「振袖」で成人式に臨むのが慣わしいとさせています。

節目節目に折々の着物を着ますが、振袖はお嬢さんの時代を表す未婚の方の正装、つまり民族衣装としての着物の位置付けでは、未婚女性の第一礼装に当たります。

一度きりの成人式、気に入った振袖を身にまとい、楽しい一日にしてくださいね♪ (M.S)

毛布と羽毛布団

冬の寝具の代表と言えば毛布です。とても暖かい毛布は、肌に密着させていれば寒さを凌げるイメージがあります。確かに、冷気をシャットダウンする効果がありますが、これは保温機能を言うより断熱機能に近いものとなります。つまり、毛布の内側は暖かく、毛布の外側の空気はシャットダウンしていることとなります。日頃、毛布の上に羽毛布団を重ねて眠っている人は、損をしてしまうこととなります。

なぜなら、毛布は外側の空気を内側に取り入れようとしないので、どんなに高級な羽毛布団を上重ねても、その羽毛布団の保温効果は毛布の向こう側にいる自分の身体には伝わってきません。

もうお分かりかと思いますが、毛布は羽毛布団の上に掛けるのが正解です。羽毛布団は、保温性が高いので、この保温性を逃さないようにするために、上に毛布を掛ければ、布団に入った時の暖かさが全く変わってきます。

みなさんも一度試してみてください☆ (M.S)